

ORCAブリッヂ

操作マニュアル

<u> 第12版</u>

2023/07/06

はじめに

このマニュアルではORCAブリッヂのインストールから出力設定までの操作方法について 説明しています。日医標準レセプトソフト(ORCA)、API接続、インターネット接 続、証明書のインストール、および本アプリケーション(ORCAブリッヂ)の利用登録

(アクティベーションキーの取得)が完了しインストーラーの準備が整っていることを前 提としています。

【重要】日レセクラウドに接続する場合

『日医標準レセプトソフト クラウド版』の証明書について

クラウド接続する為、下記、2つの証明書のインストールが完了している必要があります。

証明書	ファイル名	コンテンツのタブ
CA証明書	ca.crt (注1)	信頼されたルート証明機関
クライアント証明書	~.p12 (注2)	個人

注1). WebORCA(新URL)の場合、CA証明書のインポートは不要となりました。

注2). クライアント証明書の名称をリネームする必要は無くなりました。

【確認方法】

インターネットエクスプローラー等のインターネットオプション (コンテンツ)証明書を開いて タブを選択し各証明書が正しく登録されているか確認してください。

【インストール方法】

『日医標準レセプトソフト クラウド版 医療機関向けシステム管理サイトサクセス手順』を参照してインストール作業を行ってください。

http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/2-4.cloudorca-tenant-admi nsiteaccess_20190930.pdf

※このホームページは予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

目次

1. 概要	•••••	3
2. システムのインストール		4
3. 初期設定	•••••	7
4. ユーザ プログラムの登録	•••••	16
5. EXEコマンドを実行する場合	•••••	17
6. CSVファイルを出力する場合	•••••	21
7. TXTファイルを出力する場合	•••••	24
8. XMLファイルを出力する場合	•••••	27
9. ユーザ プログラム登録(実行の登録)	•••••	31
10. ユーザ プログラム登録(編集・削除)	•••••	32
11. その他の機能	•••••	33
12. 新機能	•••••	36
13. 閉じる	•••••	37
14. 終了	•••••	37
15. システムの更新	•••••	38
16. システムのアンインストール	•••••	38
17. よくある質問	•••••	39
修正履歴	•••••	41

1. 概要

ORCAブリッヂは日医標準レセプトソフト(以下、ORCA)と周辺システムの連携 を可能にする為、その橋渡し(ブリッヂ)役となることを目的として開発されました。O RCAの画面操作により発行されるPush API情報をORCAブリッヂで受け取り周辺 システムへの連携に必要な情報を形成して指定されたファイル形式で指定されたフォ ルダへ出力します。従来、ユーザプログラムを使用して連携用のプログラムをカスタマイ ズで作成しORCA側へ組み込む必要がありましたがORCAブリッヂはそのプログラムと 同等の動作をWindows上で行うことが出来ます。オンプレおよびクラウドに対応して います。

またORCAで印刷指示された帳票データ(JSON形式のファイル)を指定されたフ オルダへ出力することが出来ます。例えば患者登録時「診療録(カルテ1号紙)」、 診療行為登録時「請求書兼領収書」や「お薬手帳」等の帳票データをORCAの 印刷操作で出力することが出来ます。出力可能な帳票データ、およびORCA側の設 定方法に関しましてはORCAホームページ「帳票データを作成するための日レセの設 定について」を参照してください。



① ORCA_Bridge.msiを実行してください。

🔀 ORCA_Bridge	1 <u>000</u> 1		×		
ORCA_Bridge セットアップ ウィザードへようこそ					
インストーラーは ORCA_Bridge をインストールするために必要な手川	順を示します	•			
この製品は 茎作権に関する注律おけび国際条約にトリ保護されて!)ます. この)	制品の名	×≖R		
この裏間は、着中間に関する近年のなど国際業業所により採設してい または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権 注意ください。	の侵害とな	ますの	18 E		
	[次]	(へ]ボ	シをク	Jックしま ⁻	す。
キャンセル 〈戻る	(B))次へ(<u>N</u>			
ORCA_Bridge	-		×		
インストール フォルダーの選択					
インストーラーは次のフォルダーへ ORCA_Bridge をインストールしま	す。				
このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。 トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	別のフォル:	ダーにイ	ンス		
フォルダー(E):	_				
C:¥ORCA_Bridge¥		9照(<u>R</u>)…	(0		
ORCA_Bridge を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にイン	ストールします	‡:			
●すべてのフーザー(F)					
○このユーザーのみ(<u>M</u>)		へ]ボタ	ンをクリ	ックします	•
キャンセル く戻る	(B)	》 次へ(<u>N</u>)			

ORCA_Bridge			×	
インストールの確認			-	
ORCA_Bridge をインストールする準備ができました。				
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。				
	[;	欠へ]ボ	タンをクリ	Jックします。
キャンセル	< 戻る(<u>B</u>)	;次へ(<u>N) > </u>	
🖁 ORCA_Bridge	-		×	
ORCA_Bridge をインストールしています				
ORCA_Bridge をインストールしています。				
お待ちください…				
キャンセル -	〈戻る(目)	次へ()	<u>v</u>) >	

B ORCA_Bridge	(<u>1777</u>)		×		
インストールが完了しました。					
ORCA_Bridge は正しくインストールされました。					
終了するには、 [閉じる]をクリックしてください。					
	[閉	じる]ボ	タンをクリ	ックします。	
Windows Update で、NET Framework の重要な更新があるかどう	かを確認して	ください。			
キャンセルーベル	見る(目)	閉じる			

システムのインストールは完了です。

デスクトップに [ORCAブリッヂ] のアイコンが作成されます。同時にスタートアップメニュ ーへ登録されます。

3. 初期設定

- デスクトップにある [ORCAブリッヂ]アイコン をダブルクリック (実行) してください。
 <u>常駐プログラム</u>で起動します。
- タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッヂ]アイコンを右 ボタンでクリックします。
- ③ 表示されたメニューから「開く」を選択します。

メインメニューが表示されます。

	アクティペーション 設定	
	ユーザ ブログラム登録	
ORCA Bridge	閉じる	

[設定]ボタンをクリックしてシステムの初期設定を行います。



[設定]ボタンをクリックして設定画面を開きます。

🔺 ORCAブリッチ (設定)					- 0 X
ORCA Bridg	je				DISCONNECTED
(四)(ハブリッヂ (フーザブログラム登録)					
		◉ クラウド	〇オンプレ	○ オンプレ(WebORCA)	
設定		 オンプレ TLS1.2 	WebORCA		
	WebSocket サーバのURL	$\tilde{2}$			
	APIのユーザID	3			
	API+-	4			
	SSLクライアント認証の利用	<u>(5)</u> • 75		○しない	
	APIサーバ	6			
	APIポート	\bigcirc			
	クライアント証明書	8			参照
	秘密鍵バスフレーズ	9			
	帳票データファイル出力バス				参照
					脊録
閉じる					
Version 1.0.18 Update 2023/06/20					

クラウド、オンプレまたはオンプレ(WebORCA)を選択します。

※各設定内容に関しまして次頁以降の設定例を参照してください。



設定例1). ク	ラウドの場合				
					- 0 X
ORCA Bridg	ge				🔋 DISCONNECTED
ORCAブリッヂ(ユーザブログラム登録)			○ オン ゴレ	○ オン, ゴレ(Wab000A)	- ×
設定		● クラファ オンプレ TLS1.2	WebORCA	(A D D D (TEBDORCH)	
	WebSocketサーバのURL (2)				
	APIOI-FID				
	API+- (4)				
	SSLクライアント認証の利用 5	● する		○ しない	
	APIサーバ 6				
	クライアント証明書				
	帳票データファイル出力バス				参照
		L			Z2 + 3
閉じる					± ≠*
Version 1.0.18 Update 2023/06/20					
① TLS1	.2、またはWebO	RCAを選択しま	ます。		
選択す	ると下記、サーバ	情報、およびAI	PIポートは自	1動設定されます	o
② 「Web	Socketサーバの	URLJ			
=wss:	://pusher-prox	y.glorca.orc	amo.jp/ws	(TLS1.2	の場合)
=wss:	://weborca.clo	ud.orcamo.ip	/ws	(WebORCA	の場合)
(3) [API0	の フーザ エロー	= orr	naster	-	
	⊧	= (A	PI認証用の	D+-)	
5 [SSI/	' 」 クライア〜ト認証の	いまし 一する	(1 / 10/0/0111 / 1) •		
 ΓΔDI+ 	ノノーノン BUBE ○ノ + バー				
	p_{1}	alarca arcam	o in		ヨム)
- 111	h2·//ah-hloxà	giurca. urcan	:		
	ps.//weborca.c	cloud.orcamo.	Jb	(WeDURCA	(の場合)
(7) AP17					
= 808	0 (TLS1.2	2の場合)			
= 443	(WebOl	RCAの場合)			

- ⑧ APIの「クライアント証明書」 = ~.p12
 ([参照]ボタンを使用して登録された証明書を選択します)
 【重要】証明書のインストールが完了していることを確認してください。
- ③ APIの「秘密鍵パスフレーズ」 = (APIの秘密鍵パスフレーズ)
 ※上記、証明書に同梱されている.passファイル内の文字列(パスワード)。
- ⑩「帳票データファイル出力パス」 = ([参照]ボタンを使用して選択します)



設定例2). オンプレ、またはオンプレ(WebORCA)の場合

A ORCA Bridg	ze				- 0 X
			2		UISCONNECTED
ORCAブリッヂ(ユーザブログラム登録) 設定		○ クラウド	● オンブレ	○オンプレ(WebORCA)	
		① オンプレ TLS1.2	WebORCA		
	WebSocket サーバのURL	2			
	APIのユーザID	3			
	API+−	4			
	SSLクライアント認証の利	m(5) ^{つする}		●しない	
	APIサーバ	6			
	APIポート	\bigcirc			
	クライアント証明書	8			参照
	秘密鍵バスフレーズ	9			
	帳票データファイル出力ル	10			参照
					登録
閉じる					
Version 1.0.18 Update 2023/06/20					

- ① オンプレを選択します。
- ②「WebSocketサーバのURL」
 =ws://(ORCA サーバー IP):9400/ws (オンプレの場合)
 =ws://(ORCA サーバー IP):8000/ws (オンプレ (WebORCA) の場合)
 ③「APIのユーザID」 = ormaster
 ④「APIキー」 = ormaster
 ⑤「SSLクライアント認証の利用」 =しない
 ⑥「APIサーバ」 = http://(ORCA サーバー IP)
 【重要】最後の「/」は削除してください。
 ⑦「APIポート」 = 8000
 ⑧ APIの「クライアント証明書」 = (設定なし)
 ⑨ APIの「秘密鍵パスフレーズ」 = (設定なし)

 ⑩「帳票データファイル出力パス」 = (参照して選択します)



【補足説明】

ローカル接続の場合、PUSH-API配信サーバ(pusher)のインストールが必要になりま

す。下記、手順に従ってLinuxのTerminal画面からインストールを行ってください。

(1). Terminal画面を開いてユーザーをrootに変更します。

(2). PUSH-API配信サーバ(pusher)をインストールします。

① Ubuntu18.04 の場合

\$ sudo apt-get install jma-receipt-pusher

② Ubuntu20.04 の場合

\$ sudo apt install jma-receipt-pusher

(3). pusherが起動されているか確認します。

① Ubuntu18.04 の場合

\$ sudo supervisorctl status pusher

(RUNNINGと表示されていればOKです)

② Ubuntu20.04 の場合

\$ sudo systemctl status jma-receipt-pusher.service
(active (running)と表示されていればOKです)

RUNNINGと表示されない場合、またはエラーとなっている場合、pusherを、

再起動します。

① Ubuntu18.04 の場合

\$ sudo /etc/init.d/supervisor restart

\$ sudo supervisorctl start pusher

② Ubuntu20.04 の場合

\$ sudo systemctl restart jma-receipt-pusher.service

(補足) pusher用のログファイルが下記に出力されますので、必要に応じて内容の確認 を行います。

/var/log/jma-receipt/pusher.std.log

🔺 ORCAブリッヂ (設定)			- 0 X
ORCA Bridg	ge		DISCONNECTED
ORCは ブリッヂ (ユーザブログラム登録) 設定 アクティベーション ①2 閉じる	WebSocket サーバのURL APIのユーザID APIのバスワード SSLクライアント認証の利用 APIサーバ APIボート クライアント証明書 秘密鍵バスフレーズ 帳票データファイル出力バス		参照 登録 〔1〕
Version 1.2.0.0 Update 30/3/2018			

① 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

正常に登録された場合、メッセージが表示されます。

×
接続に成功しました。
ОК
b

同時に右上の表示で <u>DISCONNECTED</u> が <u>CONNECTED</u> の表示に変わり ます。

正常に接続されない場合、入力されている設定内容、および使用期限、等を確認してください。

② 登録が完了したら画面の左上にある [アクティベーション]ボタン をクリックします。



アクティベーション画面が表示されます。



13 アクティベーションの「パスワード」を入力してください。

入力したパスワードは*で表示されます。

□ をチェックした場合、入力したコードを表示させることが出来ます。

注).この操作は初回のみ行います。

⑭ [実行]ボタン をクリックしてアクティベーションを行います。

アクティベーションに成功するとメッセージが表示されます。



登録に失敗した場合、入力されているパスワード、および使用期限を確認してください。



VPN接続の場合の注意点について

VPN接続の場合、ORCAブリッヂが起動する前にVPN接続が確立している必要がありま す。従って、プログラム起動順の間違いが発生しないようなに起動方法を検討する必要があ ります。以下の様なバッチコマンドを参考にして起動順の対策を行ってください。

【解説】

このバッチコマンドではまず、起動中のORCAブリッジを終了してクラウドサーバーの接続を完 了した後、ORCAブリッヂを起動しています。「クラウドサーバー接続」の部分は御社の作成し た「VPN名」に合わせてください。

①任意のバッチファイル名で以下の内容のバッチファイルを作成してください。

@echo off taskkill /im ORCA_Bridge.exe /f > null rasphone -d "クラウドサーバー接続" start " " "C:¥ORCA_Bridge¥ORCA_Bridge.exe"

②作成したバッチファイルのショートカットを作成しデスクトップなどに配置します。

③ユーザー様へは、

「VPNの接続は、このシュートカットをダブルクリックして始めてください」 と説明してください。

以上で、初期設定は完了です。

続けてユーザプログラム登録を行います。

4. ユーザプログラムの登録

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。

🔺 ORCAブリッヂ (ユーザブログラム登録)			– Ø X
ORCA Bridge	e		CONNECTED
ORCAブリッチ(ユーザブログラム登録) 設定	起動画面 國著臺灣麵麵		② 新規 +
	美行 処理・帳票名	出力形式 実行スクリフト、あよびファイル名	
閉じる			
Version 1.2.0.0 Update 30/3/2018			

- ユーザープログラムを実行する為の起動画面([受付通知]、[患者登録通知]、または[診療行為登録])を選択します。
- ② [新規]ボタン をクリックして 「編集」画面 を開きます。

実行(出力)するタイプで作成方法を分岐してください。

- ・[EXE] パラメータを指定して実行形式のEXEコマンドを実行します。
- ・[CSV] 出力する項目を指定してカンマ区切りのCSVファイルを出力します。
- ・[TXT] 出力する項目を指定して固定長のTXTファイルを出力します。
- ・[XML] 出力する項目を指定してXMLファイルを出力します。



5. EXEコマンドを実行する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例1)「受付表示システム」と連携させる

ORCAの受付登録時に待合室に設置された「受付表示システム」へ受付された 患者さんの患者情報を表示。表示用のプログラム(UketsukeDisplay.ex e)へパラメータ(患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、性別、予約日、予約 時間)を渡して実行することで表示が可能とします。

起動画面	受付通知
プログラム(パス)名	C:¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe
パラメータ	\$1=患者番号
	\$2=患者氏名
	\$3=患者カナ氏名
	\$4=性別
	\$5=予約日
	\$6=予約時間

実行時コマンドライン

C:¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 \$5 \$6



「編集」画面を開きます。

起動画面 受付通知 処理・帳票名 受付表示システム連携		出力形式 設定情報ファイル インボート エクスボート EXE CSV TXT XML
APIタイブ 患者情報取得API		EXE 実行スクリプト exeコマンド(パラメータ)を入力してください
API項目リスト		例). c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは\$+番号で表現します)
1 患者番号	^	<u>4.07</u>
2 患者氏名		Shite Shite
3 患者カナ氏名		-CSV
4 生年月日		ファイルレイアウトのパターン、出力先バス、およびファイル名を入力してください
5 性別		1. カーン
6 郵便番号		
7 112月71 1		CSVバス 参照
 8 11日/1112 9 白文委託祭品 		
3 日七电站番号 10 連絡失發品		
10 尾昭元番号 11 コマント 1	這加 >>>	ファイル省
13 ば熊番号 1		exeコマンドのバラメータ、またはテキストテータの並び xml本文 定型文の参照
14 状態 1		
15 状態番号 2		- 「 porta = つ 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」
16 状態 2	(4)	3 患者力ナ氏名 全角 マ
17 状態番号 3		4 作別 1.2 ✓
18 状態 3		
19 初回受診日		下
20 最終受診日	<<< 削除	
01 /9PA40Auxe		

- ① [処理・帳票名] (=受付表示システム連携)を入力します。
- ② [出力形式] (=[EXE]) を選択します。
- ③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
- ④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 4) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。



	🐣 ORCAフリッチ (新規	D				×
	起動画面 処理・帳票名	受付通知 受付表示システム連携]	出力形式 EXE CSV TXT XML	設定情報ファイル インポート エクスポート	
5	APIタイプ 患者予約情報AP	1 ~]	EXE 実行スクリブト exeコマンド(パラメータ)を入力してください		
	API項目リスト 1 予約日		1	例).c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4	(バラメータは\$+番号で表現します) 参照	
	5], 4, 3m2 [8]			CSV CSV ファイルレイアウトのバターン、出力先バス、およびフ	アイル名を入力してください	
				バターン CSVバス	パターンの例	
			追加 >>>	例). pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照す ファイル名	る場合、[](カッコ)で囲みます)	
			追加 >>>	exeコマンドのバラメータ、またはテキストデータの並び 1 患者番号 頭ゼロ	び xml本文 定型文の参照 あり マ	^
			6	2 患者氏名 3 患者力ナ氏名 全角 4 性別 1,2		
			<<< 肖明余	5 宁約日 yyyy-1 6 予約時間 HH:mm		~
	保険種別			文字コード 〇 UTF-8 ④ Shift-JIS	戻る 登録	

- ⑤ [APIタイプ]を[患者予約情報API]で選択します。
- ⑥ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [予約日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [予約時間]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてEXEの情報を入力します。



🔔 ORCAブリッヂ (新規)		×
起動画面 処理・帳票名 受付表示システム連携	出力形式 設定情報ファイル インボート エク. EXE CSV TXT XML	スポート
APIタイプ 患者予約情報API ~ API項目リスト 1 予約日 2 予約時間	EXE 実行スクリブト exeコマンド(バラメータ)を入力してください 例).c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは\$+番号で表現します) C:¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 \$5 \$6	参照
	- CSV	ターンの例 参照
	適加 >>>> ファイル名 exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び xml本文 定型 適加 >>>> 1 患者番号 頭ゼロあり v ・ ・ ・	<u>文の参照</u>
	2 思看我名 〇 3 患者力ナ氏名 全角 4 住別 1.2 5 予約日 yyyy-MM-dd 6 予約時間 HH:mm	*
保険種別	文字コード 〇 UTF-8 ④ Shift-JIS 戻る	<u>S</u>

⑦ EXE情報を設定します。

[参照]ボタンをクリックしてファイルを選択します。

例). C:¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe

続けて、パラメータの設定を行います(手動)。パラメータは\$+番号で表現します。

番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). C:¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 \$5 \$6

⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

6. CSVファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例2)「診察券発行システム」と連携させる

ORCAの患者登録時に窓口に設置された「診察券発行システム」へ登録された 患者さんの診察券を発行。監視フォルダ(C:¥ORCA¥CSV)へ指定されたフ ァイル名(pt[患者番号].csv)およびフォーマット(患者番号、患者氏名、患 者カナ氏名、生年月日、性別)のCSVファイルを出力することで処理が可能と します。

起動画面	患者登録通知	
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥CSV	
ファイル名	pt[患者番号].csv	
CSVレイアウト	\$1=患者番号	
	\$2=患者氏名	
	\$3=患者カナ氏名	
	\$4=生年月日	
	\$5=性別	
レイアウトのパターン	\$1, \$2, \$3, \$4, \$5	(カンマ区切り)



「編集」画面を開きます。

記載動画面思者豆秋週加		** 1 22.7~
処理・帳票名		
APIタイプ		
患者情報取得API	実行スクリント	
	exeコマンド (パラメータ) を入力してください	
API項目リスト	例). c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは\$+番号で表現します	r)
1 患者番号		
2 患者氏名		受照
3 患者カナ氏名	CSV	
4 生年月日	ファイルルイマウトのパターシュ 中力失パフ お上びファイル名を入力してください	
5 性別		I Internet and a second
6 郵便番号	パターン	パターン
7 住所1	C2110	±.82
8 住所 2	630/1 2	3.46
9 自宅電話番号	例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[](カッコ)で囲みます)	
10 連絡先番号	istm >>>> ファイル名	
11 コメント1		
12 コメント2	avo フランドのポーリーク またけーキフトギークの光び vml本立	常用いたがあ
13 状態番号1	exes マンドのハンメージ、よんはチキスドチーダの並び Xilli4文	LE ± X0/3
14 状態 1		
15 状態番号 2		
16 状態2	$(4) \qquad 3 \qquad \pm \pm$	
17 状態番号3		
18 状態3	5 件則 1.2 义	
19 初回受診日	T 134 T	
20 最終受診日		

- ① [処理・帳票名] (=診察券発行システム連携)を入力します。
- ② [出力形式] (=[CSV]) を選択します。
- ③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
- ④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてCSVの情報を設定します。



🔺 ORCAブリッチ (新規)		×
起動画面 処理・帳票名 診察券発行システム連携	出力形式 設定情報ファイル インボート エクスボー EXE CGV TXT XML	F
APIタイブ 患者情報取得API API項目リスト	EXE 実行スクリプト exeコマンド(パラメータ)を入力してください 例)・c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します) 参照	
2 思看大石 3 患者力ナ氏名 4 生年月日 5 性別 6 郵便番号 7 住所1 8 住所2 9 自宅電話番号 10 連絡先番号	CSV ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください (5) パターン \$1,\$2,\$3,\$4,\$5 パターンの (6) CSVパス C:¥ORCA¥CSV 参照 (7) 例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[](カッコ)で囲みます) ブァイル名 pt[患者番号].csv	刀柳
11 コメント1 12 コメント2 13 状態番号1 14 状態 15 状態番号2 16 状態3 17 状態番号3 18 状態3 19 初回受診日 20 最終受診日 21 保護30,445,245	ibit 患者番号 頭ゼロあり と 2 患者氏名 3 患者力ナ氏名 4 生年月日 yyyyy-MM-dd 5 性別 1,2	<mark>照</mark> へ ~
保険種別	文字コード 〇 UTF-8 ④ Shift-JIS 戻る 登録	

CSV情報を設定します。

⑤ [パターン] (レイアウトパターン)を設定します(手動)。

レイアウトパターンは\$+番号で表現します。番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). \$1, \$2, \$3, \$4, \$5

⑥ [CSVパス] (CSVファイルの出力先)を設定します。

例). C:¥ORCA¥CSV

- ⑦ [ファイル名]を設定します。
 - 1) 頭の文字列(pt)を手入力します。
 - 2) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
 - 3) [患者番号]を選択してファイル名用の[追加]ボタンをクリックします。
 - 手入力した "pt" の後ろへ "[患者番号].csv" が追記されます。
 - 例). pt[患者番号].csv
- ⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

7.TXTファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例3) 「ラベル発行システム」と連携させる

ORCAの患者登録時に窓口に設置された「ラベル発行システム」へ登録された 患者さんのラベルを発行。監視フォルダ(C:¥ORCA¥TXT)へ指定されたファ イル名(pt[患者番号].txt)およびフォーマット(患者番号、患者氏名、患者 カナ氏名、生年月日、性別)のテキストファイルを出力することで処理が可能と します。

起動画面	患者登録通知
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥TXT
ファイル名	pt[患者番号].txt

テキストレイアウト

カラム数	(バイト数)	項目名	例
01~05	(05)	患者番号	00001
06~45	(40)	患者氏名	名古屋 太郎
46~85	(40)	患者力ナ氏名	ナゴヤ タロウ
86~95	(10)	生年月日	1960-03-01
96~96	(01)	性別	1

レイアウトのパターン \$1(5)\$2(40)\$3(40)\$4(10)\$5(1)



「編集」画面を開きます。

起動画面 患者登録通知		出力形式		設定情報ファイル インボー	トロクスポー
処理・帳票名 ラベル発行シス	テム連携	EXE OSV	TXT XML		
APIタイプ		EXE			
患者情報取得API	~	夫ロスフソフト			
		exeコマンド(バラメータ)を入	、力してください		
API項目リスト		(約). c∶¥orca¥exe¥UketsukeDisp	olay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 ()	(ラメータは\$+番号で表現します)	F.
1 患者番号	^				40.00
2 患者氏名					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
3 患者力ナ氏名		TXT			
4 生年月日		ファイルレイアウトのパターン	出力先パス、およびファィ	(ル名を入力してください	
5 性別				ли <u>н</u> елодо с слест.	
6 郵便番号		バターン			バターンの
7 住所1					参昭
8 住所 2					
9 自宅電話番号		例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIN	Æ].txt (項目を参照する場	給、[](カッコ)で囲みます)	
10 連絡先番号	ieta >>>	ファイル名			
11 コメント1					
12 コメント2		exeコマンドのパラメータ また	- はテキストデータの並び	xml木文	定型文の参
13 状態番号 1				0.0.0 T 🔍	Constrained in the second
14 状態 1	追加 >>>	1 患者番号	頭ゼロあり		
15 状態番号 2		2 患者氏名			
16 状態 2	(4)	3 患者力ナ氏名	全角		
17 状態番号 3		4 生年月日	уууу-ММ-d	d V	
18 状態 3		5 性別	1,2		
19 初回受診日					
20 最終受診日					
0.1 /PP&@A.u.# P					

- ① [処理・帳票名] (=診察券発行システム連携)を入力します。
- ② [出力形式] (= [TXT]) を選択します。
- ③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
- ④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてTXTの情報を設定します。



起動画面 患 #	者登録通知		出力形式 設定情報ファイル インボート エクスボート
処理・帳票名	ベル発行システム連携		EXE CSV XML
APIタイプ 患者情報取得API API項目リスト 1 患者番号 2 患者氏名	~		EXE 実行スクリプト exeコマンド(バラメータ)を入力してください 例)、c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは\$+番号で表現します) 参照
3 患者力ナ氏名 4 生年月日 5 性別 6 郵便番号 7 住所1 8 住所2 9 自宅電話番号 10 連絡先番号		(7) (8) (道加 >>>	TXT ファイルレイアウトのパターン、出力先バス、およびファイル名を入力してください パターン \$1(5)\$2(40)\$3(40)\$4(8)\$5(1) TXTパス C:¥ORCA¥TXT 例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].txt (項目を参照する場合、[](カッコ)で囲みます) ファイル名 pt[患者番号].txt
コメント1 12 コメント2 13 状態毎号1 14 状態1 15 状態番号2 16 状態3 17 状態3 18 状態3 19 初回受診日 20 最終受診日		追加 >>>	exeコマンドのバラメータ、またはテキストデータの並び xml本文 定型文の参照 1 患者番号 頭ゼロあり ~ 2 患者氏名 ~ 3 患者カナ氏名 全角 ~ 4 生年月日 yyyy-MM-dd ~ 5 性別 1.2 ~ F
保険種別			文字コード OUTF-8

TXT情報を設定します。

⑤ [パターン] (レイアウトパターン)を設定します(手動)。

レイアウトパターンは\$+番号で表現します。番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). \$1(5)\$2(40)\$3(40)\$4(10)\$5(1)

- ⑥ [TXTパス] (TXTファイルの出力先)を設定します。
 - 例). C:¥ORCA¥TXT
- ⑦ [ファイル名]を設定します。
 - 4) 頭の文字列(pt)を手入力します。
 - 5) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
 - 6) [患者番号]を選択してファイル名用の[追加]ボタンをクリックします。

手入力した "pt" の後ろへ "[患者番号].txt" が追記されます。

- 例). pt[患者番号]. txt
- ⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

8.XMLファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例4)「画像診断システム」と連携させる

ORCAの患者登録時にレントゲン室に設置された「画像診断システム」へ登録された患者さんの患者属性をファイル出力。監視フォルダ(C:¥ORCA¥XML)へ指定されたファイル名(pt[患者番号].xml)およびフォーマット(患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、生年月日、性別)のXMLファイルを出力することで連携が可能とします。

起動画面	患者登録通知
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥XML
ファイル名	pt[患者番号].xml

XMLファイル(サンプル)

<Data> <Handle>Regist</Handle> <Patient> <Patient.ID>00001</Patient.ID> <Patient.NameKanji>名古屋 太郎</Patient.NameKanji> <Patient.NameKana>ナゴヤ タロウ</Patient.NameKana> <Patient.BirthDate>1960-03-01</Patient.BirthDate> <Patient.Sex>1</Patient.Sex> </Patient> </Data>



「編集」画面を開きます。

起動画面 添有空影思想		
処理・帳票名	Æ175	
APIタイプ		
患者情報取得API	~	実行スクリフト
		exeコマンド(パラメータ)を入力してください
API項目リスト		例)、c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは計番号で表現します)
1 患者番号	~	
2 患者氏名		
3 患者力ナ氏名		AM
4 生年月日		○□□□ / □ - / □ - / □ - / □
5 1年5月		ファイルレイアウトのバターン、エカ元バス、あよびファイル名を入力してくたさい
6 郵便番号		パターン
7 住所1		
8 住所 2		XML/1,2
9 自字電話番号		例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[](カッコ)で囲みます)
10 連絡先發号	2Ptm SS	
11 3×2×1		JYAN6
12 コメント2		
13 状態番号1		exeコマントのハラメーダ、またはテキストテーダの亚ひ Xml本文 定空Xの
14 状態 1	28thn XXX	
15 状態番号 2		
16 状態2		
17 状態番号 3		
18 扰能3		4 王午月日 yyyy=mm=uu v
19 初回受診日		3 (±27) 1,2 Y
20 最終受診日	277 1211DA	
01 /PPA(IA + 56 P		

- ① [処理・帳票名] (=画像診断システム連携)を入力します。
- ② [出力形式] (=[XML]) を選択します。
- ③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
- ④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてXMLの情報を設定します。



🔔 ORCAブリッヂ (新規)	×
起動画面 処理・帳票名 画像診断システム連携	出力形式 設定情報ファイル インボート エクスボート EXE CSV TXT XIIL
APIタイブ 患者情報取得API API項目リスト 1 患者番号 2 患者氏名	EXE 実行スクリブト exeコマンド(バラメータ)を入力してください 例)・c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (バラメータは\$+番号で表現します) 参照
3 患者力ナ氏名 4 生年月日 5 性別 6 郵便番号 7 住所1 8 住所2 9 自宅電話番号 10 連絡先番号	XML ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください パターン パターン XMLパス C:¥ORCA¥XML 例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[] (カッコ)で囲みます) ファイル名 図(数) ファイル名
11 コメント2 13 状態番号1 14 状態1 15 状態4号2 16 状態2 17 状態番号3 18 状態3 19 初回受診日 20 最終受診日	exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び xml本文 定型文の多照 追加 >>> 1 患者留号 頭ゼロあり > 2 患者氏名 > 3 患者カナ氏名 全角 4 生年月日 yyyy-HM-dd > 5 性別 1,2
保険種別	文字コード ○ UTF-8 ● Shift-JIS 戻る 量録 8

XML情報を設定します。

⑤ [XML本文]を設定します(手動)。

XML本文を作成します。参照項目を(\$+番号)で表現して記入します。番号はリ ストから選択された項目並び順の番号です。

例).

<Data>

<Handle>Regist</Handle>

<Patient>

```
<Patient.ID>$1</Patient.ID>
```

<Patient.NameKanji>\$2</Patient.NameKanji>

```
<Patient.NameKana>$3</Patient.NameKana>
```

```
<Patient.BirthDate>$4</Patient.BirthDate>
```

<Patient.Sex>\$5</Patient.Sex>

</Patient>

</Data>

選択された項目(上から順に\$1~\$5)

\$1=患者番号、\$2=患者氏名、\$3=患者力ナ氏名、\$4=生年月日、\$5=性別

- ⑥ [XMLパス] (XMLファイルの出力先)を設定します。
 - 例). C:¥ORCA¥XML
- ⑦ [ファイル名]を設定します。
 - 1) 頭の文字列(pt)を手入力します。
 - 2) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
 - 3) [患者番号]を選択して<u>ファイル名用</u>の[追加]ボタンをクリックします。 手入力した "pt" の後ろへ "[患者番号].xml" が追記されます。
 - 例). pt[患者番号]. xml
- ⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

9.ユーザプログラム登録(実行の登録)

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。

🔺 ORCAブリッチ (ユーザプログラム登録)		- 0 ×
ORCA Brid	lge	CONNECTED
ORCAブリッチ(ユーザブログラム登録) 設定	起動画面 患者登録通知 >	新規 🕇
	実行 処理・帳票名 出力形式 実行スクリブ	ト、およびファイル名
	▶ ☑ §察券発行システム連携 CSV C:¥ORCA¥OUTPU	T¥pt[患者备号].csv 編集 削除
	✓ ラベル発行システム連携 TXT C:¥ORCA¥OUTPU 気(使き)#E2:フラーン演集 YML 0:YORCA¥OUTPU	T¥pt[患者番号].txt 温泉 削除
	Millikasel 9 X 7 X Jains Ninc 0.+okok+oo 1P0	14PC[25/9 世 /2] - All 1
閉じる Version 1.0.2 Update 2018/07/02		

- ① プログラムを実行させる場合、[実行]にチェックを入れます。実行させない場合、チェックを外します。
- ② 最後に[登録]ボタン をクリックして 登録します。

10. ユーザプログラム登録(編集・削除)

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。

20.000		
A OF	RCAブリッヂ	(ユーザプログラム登録)

Ao	RCA Bridg	e					CONNECTED
ORCAブリッヂ(ユ	ーザブログラム登録) 設定	起動	面面 🗏	a者登録通知 ~			新規 十
			宝行	机理 · 維亜之	中力形式	実行フクリプト およびファイル名	
		18		診察業発行シフテム連携	109V	「美ロスクラク」、のよびファイル石 IC:¥ORCA¥OUTPUT¥of [書考報号].csv	這集 川 削除 1
				ラベル発行システム連携	TXT	C:¥ORCA¥OUTPUT¥pt[患者番号].txt	這集 前除
		2.4		画像診断システム連携	XML	C:¥ORCA¥OUTPUT¥pt[患者番号],xml	編集 削除
							(1) (2)
							0 0
	81.7						
E. B	ศีปจ						
							登録
Version 1.0.2	Update 2018/07/02						

n,

① 編集する場合、[編集]ボタン をクリックします。編集画面を開きます。

② 削除する場合、[削除]ボタン をクリックします。プログラムが削除されます。

11. その他の機能

「編集」画面

🐣 ORCAブリッチ(新き	規)			5	>
起動画面	患者登録通知		出力形式	設定情報ファイル インボート	エクスボート
処理・帳票名	診察券発行システム連携		EXE COV		
APIタイプ			EXE		
予約語(関数)		~	実行スクリプト		
		- 1	exeコマンド(バラメータ)を入力してください		
		—	例)。c:¥orca¥exe¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4	4 (バラメータは\$+番号で表現します)	
2 TIME					参照
3 保険種別	1		CSV		
			ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、および	「ファイル名を入力してください	
			13-2-2 \$1.\$2.\$3.\$4.\$5		15-2-2004
			CSV/12 C:¥ORCA¥OUTPUT		参照
			例).pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照	(する場合、[](カッコ)で囲みます)	
		追加 >>>	ファイル名 pt[患者番号]_[DATE][TIME].csv]
			exeコマンドのバラメータ、またはテキストデータの:	並び ③ xm1本文	定型文の参照
		追加 >>>	1 患者番号 頭也	2ロあり ~	~
			2 患者氏名	——————————————————————————————————————	
			3 患者カナ氏名 全角	1カナ ~	
			4 生年月日 9999	v-MM-dd V	
				T	
		<<< 背明8余			
保険種別	(10)	8 X73-F	OUIT-6 SHITT-JIS OLUC Zril	● 上書き ○ 追記 戻る	全绿
	Ŭ			9	

① [APIタイプ]の予約語(関数)

[DATE]、「TIME]、および「保険種別]を選択することが出来ます。

[保険種別]は変換テーブルに登録されている内容で[保険の種類] (APIタイプ=

[患者情報取得API])を[保険種別]へ変換して出力します。

※登録方法は⑨[保険種別]ボタンを参照してください。

- ② [出力するデータ項目]のフォーマット(コンボボックス)
 出力フォーマットをコンボボックスから選択することが出来ます。(資料1)参照
- ③ [出力するデータ項目]の[上下移動]ボタン

項目を選択してボタンをクリックすると上下に移動することが出来ます。

④ [パターン例]ボタン

ボタンをクリックするとcsv、およびtxtファイルのレイアウトパターンの例を参照することが 出来ます。 ⑤ [インポート]、および[エクスポート]ボタン

作成されたユーザプログラム情報を[エクスポート]することが出来ます。またそのファイル を[インポート]することが出来ます。

⑥ [パターン]の複数行入力

複数行の入力が可能です。

- 例).1行目に項目名称(ヘッダー部)、2行目位のデータ内容を配置する。 (設定情報)
 - (1行目)患者番号,患者氏名,患者力ナ氏名,性別,生年月日
 - (2行目) \$1,\$2,\$3,\$4,\$5

 \downarrow

(出力ファイル)

患者番号,患者氏名,患者力ナ氏名,性別,生年月日

00001,名古屋 太郎,ナゴヤ タロウ,男,昭和35年10月15日

⑦ [定型文の参照]ボタン

ボタンをクリックするとxml本文の定型文を参照することが出来ます。

⑧ [文字コード]のタイプ

UTF-8、Shift-JIS、またはEUCを選択します。

⑨ [ファイル]の書込モードの登録

上書き、または追記を選択します。

⑩ [保険種別]の変換テーブルの登録

[保険の種類](APIタイプ=[患者情報取得API])を[保険種別]へ変換する為の変換テーブルを登録します。



[保険種別] 登録画面



 【保険の種類】を変換する[保険種別名]を登録します。サンプルとして変換テーブル が登録されています。(資料2)参照

保険の種類=[なし](=空欄)を変換する[保険種別名]を登録します。

保険の種類=[以外](=上記以外)を変換する[保険種別名]を登録します。

[*]行は新規登録する場合のデータ行です。

エクセルのシートイメージで内容を変更することが出来ます。

- ② 削除する場合、対象の行の[削除]ボタンをクリックします。
- ③ 最後に [登録]ボタン をクリックして登録します。

12. 新機能

「編集」画面

🔔 ORCAブリッヂ (新規)	×
起動画面 患者登録通知 処理・帳票名 診察券発行システム連携	出力形式 設定情報ファイル インボート エクスボート EXE CSV TXT XML
APIタイブ 患者情報取得API /	EXE 実行スクリブト exe コマンド(パラメータ)を入力してください
1 患者報号 ^ 2 患者氏名 3 3 患者力ナ氏名 4 4 生年月日 5 5 性別 6 6 郵便醫号 7 7 住所1 8 8 住所2 4	(例). c:#orca#exe#UketsukeUisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (ハラメータば\$#番号で表現します) SW ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください パターン \$1,\$2,\$3,\$4,\$5 (SVパス C:#ORCA#OSV SW
9 自宅電話番号 10 連絡先番号 11 コメント1 12 コメント2 13 状態番号 1	例)・pt[患者番号]_[DATE]_[TI] .csv (項目を参照する場合、[] (カッコ)で囲みます) ファイル名 pt[患者番号].cs exeコマンドのパラメータ、また :テキストデータの並び xml本文 定型文の参照
14 状態 1 15 状態 8 15 状態 9 16 状態 2 17 状態 8 18 状態 3 19 初回受診 日 20 最終受診 日	1 患者番号 頭ゼロあり 2 患者氏名 ~ ~ 3 患者力ナ氏名 全角 ~ 4 生年月日 2 yyyy-MM-dd 5 性別 1,2
<u>□</u>	文字コード O UTF-8 ⑥ Shift-JIS 戻る 登録

① [API項目リスト]の選択

項目をダブルクリックすると出力項目へ追加されます。

② [出力するデータ項目]の選択

項目をダブルクリックすると(\$+番号で)パターンへ追加されます。



🔺 ORCAブリッヂ (ユ-	-ザプログラム登録)						- 0	×
	ORCA Bridg	ge						
							CONNECTED	
ORCAブリッチ(コ	ユーザブログラム登録)							
	設定	起動	ゆ画面 患	▲看登録通知 ~			新規 🕂	
-			軍行	処理・帳票名	出力形式	実行スクリブト、およびファイル名	 	
				診察券挙行システム連携	CSV	C:¥ORCA¥OUTPUT¥ot[串去錄号].csv	這集 削除	- 1
				ラベル発行システム連携	TXT	C:¥ORCA¥OUTPUT¥nt[串去番号].txt		- 1
				画像診断システム連携	XML	C:¥ORCA¥OUTPUT¥pt[患者番号].xml	編集 削除	- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
								- 1
	881" 7							- 1
	1#10 ©						75.03	- 1
Version 1.0.2	Update 2018/07/02							

システムを閉じる場合、[閉じる]ボタンをクリックして閉じます(終了するまでプログラ ムは常駐しています)。

14. 終了

- タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッヂ]アイコンを右 ボタンでクリックします。
- ② 表示されたメニューから「終了」を選択します。
- ③ 下記メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。

ORCA_Bridge				
終了します。よろしいですか?				
OK キャンセル				

15. システムの更新

(Version 1.0.18以降の場合)

- タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッヂ]アイコンを右 ボタンでクリックします。
- ② 表示されたメニューから「最新バージョンに更新」を選択します。(以前のバージョンの場合)
- ① 本マニュアル (P38) 「13. 終了」を参照してシステムを終了してください。
- 本マニュアル(P4)「2.システムのインストール」を参照してシステムをインストール してください。

16. システムのアンインストール

Windowsの設定メニューの「アプリと機能」から「ORCAブリッヂ」をクリックして表示 されたメニューからアンインストールを選択します。

17. よくある質問

① 設定画面の登録で接続エラーとなって接続できない。

以下の内容を確認してください。

【証明書のインストール】

日レセクラウドの場合、各証明書が正しくインストールされている必要があります。 本マニュアル(P1)「『日医標準レセプトソフト クラウド版』の証明書について」を 参照して各証明書が正しくインストールされているか確認を行ってください。

【pusherの起動】

オンプレの環境の場合、pusherが起動している必要があります。

本マニュアル(P13)「(3). pusherが起動されているか確認します。」を参照してpusherが起動しているか確認を行ってください。

【Portが閉じている】

オンプレの環境の場合、Windows PowerShellを開いて以下のコマンドを実行してPortが開いているか確認してください。

(コマンド)

Test-NetConnection [ターゲット] -Port [ポート番号]

(ポート番号)

APIポート ··· 8000

WebSocket用ポート … 9400

例).

Test-NetConnection 192.168.1.1 -Port 8000

② ORCAブリッヂが動作しない時がある。

以下の内容を確認してください。

【インターネット接続環境】

インターネット接続環境によって日レセクラウドとORCAブリッヂのVPN接続が切断されることがあります。切断された場合、ORCAブリッヂは再接続を行いますが、接続が復旧するまでにORCAの登録処理が行われた場合、そのデータは処理されません。

修正履歴

- 2018/04/01 初版
- 2018/06/15 2版 調整
- 2018/07/20 3版 ユーザープログラム登録でTXT、およびXMLファイルの出力を追加しました。 その他の機能で[パターン]の複数行入力の機能説明の追加しました。 xml本文の[定型文の参照]、および[文字コード]の選択機能の追加しました。 [保険種別]の変換テーブルの登録機能の追加しました。
- 2020/01/31 4版 設定例1). クラウドの場合 をTLS1.2用に更新しました。
- 2020/06/03 5版「作業に入る前に」の説明を追加しました。 「VPN接続の注意点について」の説明を追加しました。 「ファイル」書込モードを追加しました。 一部の表現・文言の修正をしました。
- 2021/05/10 6版「よくある質問」を追加しました。
- 2021/06/03 7版 クライアント証明書のファイル名にdbXXXX.p12を追加。
- 2021/10/21 8版 帳票データ(JSON形式のファイル)に関する説明を追加しました。 クライアント証明書のファイル名の変更に関する説明を削除しました。 「システムの更新」を追加しました。

(資料1)の日付関連の書式に関する選択項目を追加しました。

- 2021/12/01 9版 クラウド接続でWebORCAに対応しました。 新機能ページを追加しました。
- 2022/01/24 10版 log4netのバージョンアップを行いました(脆弱性対応)。 WebORCAのサーバ証明書入れ替え対応を行いました。
- 2022/08/03 11版 【補足説明】のpusherのインストール、他へUbuntu20.04を追記しました。
- 2023/07/06 12版 WebORCAオンプレに対応しました。

設定へ「オンプレ(WebORCA)」を追加しました。

常駐メニューへ「最新バージョンに更新」を追加しました。

⁽資料1)項目へ「メールアドレス~資格取得日」を追加しました。

ORCAブリッヂ で出力可能なAPI項目と設定可能な書式について

No.	API名	項目	書式(下線=初期表示)	出力サンプル
1	串耂甘木桂盅取得ADI	串耂釆旦	<u>頭ゼロあり</u>	00001234
T	芯有季本用報取時AIT	志伯首方	頭ゼロなし	1234
2	11	患者氏名		
3))	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	<u>全角</u>	テスト タロウ
5	"	芯有刀ノ氏石	半角	テスト タロウ
			<u>yyyy-MM-dd</u>	1970-01-17
			yyyy/MM/dd	1970/01/17
			yyyyMMdd	19700117
			yyyy.MM.dd	1970.01.17
Л))	生在日日	gee/MM/dd	S45/01/17
4	<i>"</i>		gee.MM.dd	S45.01.17
			gee年MM月dd日	S45年01月17日
			gggee/MM/dd	昭和45/01/17
			gggee.MM.dd	昭和45.01.17
			gggee年MM月dd日	昭和45年01月17日
			<u>1, 2</u>	
			0、1	
Б	11	₩+ 모 Ⅱ	M、 F	
5	//	נתבו	male、female	
			男、女	
			男性、女性	
6)]	郵価悉号	<u>指定なし</u>	4460850
0	"	却反由力	000-0000	446-0850
7	//	住所1		
8	//	住所2		
9	//	自宅電話番号		
10	//	連絡先番号		
11	//	コメント1		
12	//	コメント2		
13	//	状態番号1		
14	//	状態1		
15	//	状態番号2		
16	//	状態 2		
17	//	状態番号3		
18	//	状態 3		
19	//	初回受診日	(生年月日と同様)	
20	//	最終受診日	(生年月日と同様)	
21	//	保険組合せ番号		
22	//	入院負担割合		
23	//	外来負担割合		
24	//	保険の種類(※1)		
25	//	保険者番号		

ORCAブリッヂ で出力可能なAPI項目と設定可能な書式について

No.	API名	項目	書式(下線=初期表示)	出力サンプル
26	11	保険の制度名称		
27	11	記号		
28	11	番号		
29	11	本人家族区分		
30	11	適用開始日(保険)	(生年月日と同様)	
31	11	適用終了日(保険)	(生年月日と同様)	
32	11	公費の種類(※2)		
33	11	公費の種類名称		
34	11	負担者番号		
35	11	受給者番号		
36	11	適用開始日(公費)	(生年月日と同様)	
37	11	適用終了日(公費)	(生年月日と同様)	
38	11	電子メールアドレス		
39	11	枝番		
40	11	被保険者名		
41	11	資格確認日	(生年月日と同様)	
42	11	保険確認日	(生年月日と同様)	
43	患者予約情報API	予約日(※3)	(生年月日と同様)	
11		又约吐胆(※2)	<u>hh:mm</u>	09:30
44	//	了称小时间(%3)	hhmm	0930
			yyyy-MM-dd	2018-01-21
45			yyyy/MM/dd	2018/01/21
45	了約倍(戌奴)	DATE(%4)	yyyyMMdd	20180121
			yyyy.MM.dd	2018.01.21
10			hhmmdd	093046
40	//	1 11VIE(×4)	<u>hh:mm:dd</u>	09:30:46
47	11	保険種別(※5)		

(※1)[保険の種類]等、保険情報はPushAPIで通知された[保険組合せ番号]と一致した情報を出力します。

PushAPIの[保険組合せ番号]が空の場合は、レスポンスで返却された一番最初の保険情報を出力します。 (※2)[公費の種類]等、公費情報は一番最初の公費情報を出力します。

(※3)予約日、予約時間は当日を含まない最新の日時(1件)を出力します。

(※4) 実行日時を出力します。

(※5) (資料2) を参照。

保険種別の初期設定について

No.	保険の種類	保険種別名
1	060	国保
2	067	国保
3	068	国保
4	069	国保
5	039	後期高齢者
6	040	後期高齢者
7	971	労災
8	973	自賠責
9	975	公害
10	980	自費
11	981	自費
12	982	自費
13	983	自費
14	984	自費
15	985	自費
16	986	自費
17	なし	公費単独
18	以外	社保

予約語(関数)の[保険種別]を「データの並び」の項目へ選択した場合、 患者情報取得APIの[保険の種類]を上記、[保険種別名]へ変換して出力します。 [保険の種類]=(設定なし)の場合、「なし」で設定されている[保険種別名]を出力します。

[保険の種類]=(上記以外)の場合、「以外」で設定されている[保険種別名]を出力します。